

広島大で短期交換留学事業中間報告会  
グローバル・リーダーシップ・プロジェクト

広島大学では、短期交換留学プログラム (HUSA) の留学生による「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト: 大学と地域の協働」(留学生の自助支援: ホームシック対策) 実践研究グループプロジェクト第1回中間発表会を去る1月24日に東広島キャンパスの学生プラザで開催した。



発表するHUSAプログラム留学生

北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジアの13カ国33大学からの交換留学生39人で構成する7グループが、HUSA担当の恒松直真国際センター准教授による英語と日本語の司会・進行のもと、実践プロジェクトの進行状況について発表。現在、留学生の自助支援プロジェクトの一環として、ホームシックを軽減するため、地域との協働プロジェクトに昨年10月から取り組んでいる。

発表会は地域公開として開催され、地域企業の人々や学内の教員、大学院生・留学生から貴重なフィードバックがあつた。大学と地域の協働について多くの示唆を得ることができた。

現在、「日本到着後30日サバイバルガイド」「留学準備ガイド」「東広島紹介ビデオ」「広島大学サークル&クラブ」「世界の料理を紹介する西条インタラクティブマップ」など、留学生は試行錯誤してプロジェクトを進めており、プロジェクトの今後の進展が期待される。



国際セミナーで留学生にフィードバックする学生

映画で広げる知的フィールド  
神戸大図書館がトークイベント

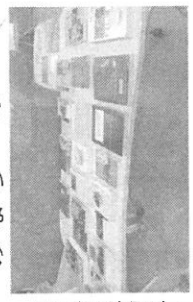
神戸大学附属図書館は1月15日から18日の計4回にわたり、「神戸大図書館お昼休みトークイベント2『映画で広げる知的フィールド』」を開催した。附属図書館で定期的に実施しているテーマ図書展示に賛同した教員と協力して関連するイベントとして1月に開いた第一弾に続き企画したもの。今回は、神戸大国際文化学研究所国際文化学研究推進センター (Promis) 2017年度研究プロジェクト「映像メディアにおける注意と情動に関する領域横断的研究」の協力を得て、同研究所の4名の教員が講演。昼休みの30分間を目安として、総合・国際文化学図書館内テーマ図書展示コーナー前で開催した。

各回のテーマは①ソング映画: その人気の秘密 ②怖いものは見たい?: 怖さとの関係 ③映画は『透明』を映せるか: 透明人間から考える ④映画のことをもっと知りたくなる映画: 色彩、音、観客と内容もユニ

クで大変興味深く、映画の新たな魅力を紹介した。

昼休みの短い時間ながら毎回立ち見が出る盛況となり、4日間で延べ194名の学生・教職員が参加した。アンケートでは「ホラー映画を見なくなる理由が分かった」「紹介された映画を見なくなった」「映画の歴史についてもっと知りたくなった」といった多数の感想が寄せられるなど、大いに好評を得た。

トークイベント講師の推薦図書リストを神戸大図書館HPからWeb公開している。



関連図書紹介コーナー



1月18日の第4回イベント